

単元名 世界から見た日本

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 我が国の国土の様子と国民生活について、世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解するとともに、地図帳や地球儀、各種の資料で必要なことを調べ、白地図やパンフレットなどにまとめることができる。
- (2) 世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれた多数の島からなる国土の構成などに着目し、我が国の国土の様子を捉え、その特色を考え、表現することができる。
- (3) 世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、我が国の国土の様子などについて、学習問題などの解決に向けて意欲的に追究しようとする。

標準的な展開例

05030101_001

| 学 習 活 動 | 留 意 事 項 など |
|---|---|
| <p>1 衛星写真を見て気付いたことを話し合い、単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○宇宙から見た地球の写真を見て、気付いたことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・世界の陸地には茶色や緑色、白色の所がある ・日本は緑の部分が多い ○地球儀で日本とその周りの様子を概観し、単元の学習問題をつかむ。 ★世界の中の日本の様子や特色を探ろう ○学習問題について予想し、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・どこからどこまでが日本なのだろう ・日本の周りにはどんな国があるのだろう ○予想を基にして、学習計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・調べる内容…日本の周りの国々、日本の位置や範囲 ・調べる方法…教科書、地図帳、地球儀、インターネット ・表現の仕方…白地図 <p>2 日本や日本の周りの様子について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地球儀を見て、日本の周りに何があるかを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・周りを海で囲まれている ・西に大きな陸地がある ○世界の大陸や海洋について調べる。 ○日本の位置の表し方を考え、発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ユーラシア大陸の東 ・太平洋の西の端 <p>3 世界の主な国の名称と位置を知り、日本との位置関係を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○世界の国の国旗を見て、知っていることを発表する。 ○地球儀や地図帳を使って、世界の主な国を調べる。 ○日本から見た他の国の位置を発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカは日本の東にある ・ブラジルは日本から見て、地球の裏側にある ○世界の国々について、白地図にまとめる。 <p>4 日本の位置や範囲について調べ、領土に関する問題を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地図を見て、日本の周りには何があるか発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・日本海などの海洋 ・韓国やロシアなどの国 ○日本の範囲がどこからどこまでか調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・緯度…およそ北緯20度から46度まで ・経度…およそ東経122度から154度まで ・東端…南鳥島 ・西端…与那国島 ・南端…沖ノ鳥島 ・北端…択捉島 ○日本の位置を海や周りの国との位置関係で考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・日本の東と南は、太平洋に面している ・ユーラシア大陸の東にある島国 ○領土問題について知る。 <p>5 単元の学習を振り返り、日本の国土の様子や特色を地図にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学んだことを白地図に書き入れて、まとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・六大陸と三大洋 ・日本の位置と範囲 ・日本の周りの国々 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童の発表を受け入れつつ、「その部分はどくなっているのだろう」と投げかけ、疑問をもたせる。 ・色の違いや大陸同士の距離、日本の位置に着目させる。 ・地球儀を用意し、手で触れる機会を多くもたせる。 <p>【評】世界の中の、日本の国土の様子や特色について話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P. 6～17で、学習の内容を大まかにとらえさせる。 ・インターネットの利用については偏った情報や誤った情報に気を付けるよう指導する ・パンフレットや壁新聞で表現させてもよい <ul style="list-style-type: none"> ・地球儀の他に地図帳なども活用して、日本の周りの様子を調べさせる。 ・六大陸と三大洋の名称や位置を押さえる。 ・日本の位置を、大陸名や海洋名を使って、世界の広がりの中で表現できるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・主な国の国旗について、簡単に補説を加える ・調べた国の国旗についても調べさせる。 ・地球儀の特徴を理解させた上で、世界の主な国々がどの位置にあるかを調べさせる。 <p>【評】白地図にまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P. 14～15「日本の国土のはんい」の地図から読み取らせる。 ・教科書P. 15で、領土、領海、領空、排他的経済水域に触れ、排他的経済水域では鉱山資源を自分の国だけで利用することができることを紹介する。 ・世界の広がりの中で日本の位置を捉えさせ、説明することができるようにする。 <p>【評】日本の位置や範囲について調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P. 16「北方領土、竹島、尖閣諸島の位置」の地図から、それぞれの位置と領土問題の内容について触れる。 <p>【評】日本の国土の様子や特色を地図にまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> |

【 備 考 】

第4時の領土問題については，指導要領解説P.76を参照。